

～ All for one, One for all. ～

旧約聖書「詩篇」

第五五篇 一二節

あなたの荷を主にゆだねよ。主はあなたをささえられる。主は正しい人の動かされるのを決してゆるさない。

光 の 家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設
東京光の家会報

— 189 号 —

2016 年 11 月 15 日発行



2016 愛のサウンドフェスティバル ～煌(きらめき)～

於：たましん RISURU ホール (立川市)

会 報 五 言

- 一・世の中は少しずつ変わると人は言う。でも殆んど変わらない。変わる事のみを求めすぎるから。
- 一・他者の変化のみを求めて、自己の変化を忘れている自分は本当に困る存在である。
- 一・でも、困る自分が気がつかないのは、もっと困る。
- 一・世の中はどうしたら良くなるだろうか。自分自身が良くなるよう心がける事が先決であろう。
- 一・しかし現実には、いつも自己改善を後にしている。これが最悪である。

「光の家」で話すことの恵み

社会福祉法人 東京光の家 日曜聖書集会 講師 小館 美彦



皆さんに元気を与えるために話をしに来ているのですが、結果はあべこべ。私の方が彼らから元気を与えられてしまう。こんなことは他の礼拝ではあり得ないことです。

「光の家」の日曜礼拝で話をさせていただくようになり、早くも一年が過ぎようとしていきます。その一年を振り返りつつ思いますことは、その体験の一回一回が与えてくれる恵みの豊かさです。「光の家」の皆さんの前で聖書の話をするのはなんと恵みに満ちていることか。今回はその恵みについてお話したいと思います。

いったいなぜここで話をすると元気がいただけるのか。それはやはり聞き手の皆さんの応答が素晴らしいからです。この聞き手の皆さんは、他の場所の聞き手の皆さんより、ずば抜けて素直でいらつしやる。楽しい話をすれば大声で笑い、悲しい話をすれば心より同情し、難しい話をすれば居眠りをし、正しい話をすれば「その通り」と同意してくださる。これくらい話し手にとつてうれしいことはありません。ですから、私はここで話をすればするほどうれしくなってくる。それで話し手の

私のほうが元気を与えられてしまうというわけです。

「光の家」の礼拝で話をすることのもう一つの恵みは、神様のことをより深く学ぶことができるということです。これまた不思議な事態です。私は神様のことを教えるために話をしに来ているのに、話を終えたときにはむしろ神様のことをより深く教えられている。これまた他の礼拝ではあり得ないことです。

いったいなぜここで話をすると神様のことをより深く教えられるのか。このこともまたこの皆さんの素直さと関係しています。先ほども言いましたように、「光の家」の皆さんは私の聖書の話にとっても素直に応答してくださる。ですから、皆さんの応答を拝見していると、私は自分が正しいことを言っているのかそうでないのか分かってしまうのです。極端な場合には、自分の話が神様の御心にかなっているかどうかさえ分かってしまう。それで、ここの礼拝

で話をした後には、神様の御心をより深く教えられているという事態になるわけです。

イエス様はマタイによる福音書の十一章でこう言っています。「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。」「幼子のような者」とは素直で従順な者のことです。つまりイエス様はここで、素直で従順な者だけが神様の御心を示されると言っているのです。素直で従順な者とは誰でしょうか。この「光の家」の聞き手の皆さんではありませんか。

素直に応答する。そのようなことができる人はあまりいません。これは恐らく神様が「光の家」の皆さんに与えた賜物でありましょう。「光の家」の皆さんがこれからもこの賜物を大切にして、周囲の人に元氣と神様の知恵を与えていくことを願っております。

第三九回 チャリティバザー

地域に根ざした伝統の行事

日時：平成二八年（〇月二〇日）（月） 体育の日
会場：旭が丘東公園・光の家ピロティ



第三九回チャリティバザーを体育の日に開催致しました。今年も地域の方々や二〇〇名以上のボランティア、保護者の皆様のご協力とご支援のおかげで売上目標の四〇〇万円を達成することができたことを心より感謝申し上げます。

また、来年は第四〇回の節目の年にあたるため、来場者やボランティアの皆様、保護者の皆様にアンケートの協力をお願い致しました。結果は半数以上の方が、一〇年以上来場してくださり、開催日時も半数以上の方がご存知でした。このように光の家のバザーは地域に根ざした伝統のある行事であることを改めて知ることができました。

（バザー委員長 阿部 哲也）



オープン前の長蛇の列



バザー会場の様子



田中理事長と仲良く握手！



保護者の方々もがんばりました！



おいしいおはぎを作っています！



子供達も輪投げで大盛り上がり！

煙

きらめき

光バンドチャリティーコンサート 愛のサウンドフェスティバル

目の光は失ったけれど 喜びと希望は与えられています
音楽がある限り 勇気の歌と感動を届けます
Let's play together



2016.9.17 SAT. たましんRISURUホール





「愛のサウンドフェスティバル」 実施のご報告

今年度の愛のサウンドフェスティバルは「煌々きらめき」をタイトルに掲げ、二年振りの会場となった「たましんRISURUホール（立川市市民会館）」に於きまして開催させて頂きました。非常に多くのお客様にお越し頂き、利用者・職員一同、心より感謝申し上げます。

メンバーはこの日の為に練習に励み、またそれを職員がサポーター役として支え続けて参りました。そして地域や関係者の皆様様方の多大なるご支援も頂き、この度のコンサート成功に繋げることができました。当日は利用者も応援に駆けつけ、まさしく東京光の家と支えてくださる方々と一つになった素晴らしいイベントとして、盛況の内に幕を下ろすことができました。

メンバー全員が盲重複障害を負いながらも、日々輝きを持って充実した生活を送り、また積極的に地域社会との共生を目指す一環として、本音楽会では福祉協力券売上の一部を開催地の立川市社会福祉協議会へ贈呈させて頂いております。

「光バンド」は地域の皆様、応援して下さる方々に煌々あふれる姿をお見せできるように、今後も日々努力し、精進して参ります。どうぞこれからも引き続き皆様からの変わらぬご支援を頂きますようお願い申し上げます。

（文化活動委員会 山田 裕基）

スポーツの秋 運動会

光の家新生園
光の家神愛園

平成二八年一〇月二八日（火）
光の家オリンピック広場
平成二八年一〇月二七日（木）
光の家講堂

今年もようやくスポーツに適したさわやかな気候の日が増え、光の家新生園、光の家神愛園で、毎年恒例の運動会が開催されました。

光の家神愛園では、光の家講堂を会場に競技が行われました。毎年みんなが楽しみにしているパン食い競争では、車椅子で参加の利用者も、普段見せない必死な表情でパンにかぶりつく姿がとても印象的でした。

光の家新生園では、日頃の体育訓練で練習を積んだ成果を発表する団体演技をはじめ、二人三脚やパン食い競争、綱引きなどの競技を、一日かけて行いました。今年新たに加わった「洗濯物干し競争」は、入所利

光の家神愛園では、光の家講堂を会場に競技が行われました。



3人4脚は難しいぞ！



私は、パン食い競争が一番スキ！



フィナーレは、やっぱり綱引き！ヨイショ！！



デモンストレーションの演技で～す！



大玉転がし！楽しいなあ～

光の家新生園、光の家栄光園、光の家神愛園の三施設で参加しました。大玉転がしやパン食い競争、綱引きなど地域の皆さんと一緒に楽しむことができました。当日は車いすバスケットのデモンストレーションも行われ、普段とは違うスポーツに皆さん興味津々でした。

第二〇回
みんなといっしょの運動会

平成二八年一〇月二日（日）
会場：中央大学第一体育館アリーナ



ちゃんと飲めるかなあ～

今年度も地域の方にむけたイベント『光の家オープンハウス』を開催しました。今回も実際に点字を読み書きする体験、アイマスクをしてジュースを飲む体験、光の家の利用者と一緒にサウンドテーパーレニスを行う等、市内の小学生が楽しみな

平成二八年九月一〇日(土)
会場：光の家地域交流センター

第6回

光の家オープンハウス
「見えない人のくらし」

から様々な体験を通して見えな
い世界を感じていただくことが
できました。また日野四中の生
徒さんたちがボランティアとし
てイベントのお手伝いをしてく
れました。

オープンハウスを行うことで、
地域の皆さんに「東京光の家」
をより深く知っていただいたこ
と、そしてイベントを通して築
き上げた地域の皆さんとのつな
がりをこれからも大切にしてい
きたいと思います。

(地域貢献活動室長

山本 誠太郎)



音を頼りに卓球してます！

自主製品魅力発信プロジェクト「KURUMIRU 都庁店」オープン!!

光の家栄光園では東京都主催の「自主製品魅力発信プロジェクト」に参加しています。9月15日に「KURUMIRU(くるみる)都庁店」がオープン、製品を置かせていただくことになりました。ぜひ一度ご来店いただければと思います。

所在地 新宿区西新宿2-8-1 都庁都民広場 地下1階

営業時間 10時30分から18時30分まで(土日祝日は休み)

ホームページ <http://kurumiru.metro.tokyo.jp>



寄付者名簿

平成二八年七月一六日
一〇月一〇日

松田 功様 メロン 一六 kg

宮田 容子様 米 三〇 kg

滝沢 幸雄様 桃 八・五 kg

サントリービバレッジサービス株式会社様 イベントクーラー一台

河野 久美子様 桃 五 kg

中西 登三男様 ゼリー 四・八個

井川 幸雄様 梨 一五個

浅石 常勝様 ぶどう 三〇 kg

渡邊 幹男様 メロン 四〇 kg

佐藤 しげ井様 梨 一二 kg

新海 直子様 枝豆 二・五 kg

船橋 敬様 梨 五 kg

とうもろこし 七・五 kg

ピーマン 四 kg トマト 六・五 kg

キャベツ 五・五 kg

鈴木 富夫様 梨 九 kg

河村 正様 米 五・四 kg

島田 英樹様 梨 一四 kg

佐藤 農園様 玉ねぎ 二二 kg

米倉 清治様 玄米 三〇 kg

松浦 マサ子様 卓タイプライター一台

高木 啓一様 柿 一七・五 kg

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。

自衛消防活動審査会

光の家自衛消防隊 **女子隊優勝！** 男子隊は敢闘賞に輝く

平成二八年九月九日（金） 会場：日野市万願寺中央公園グラウンド

日野消防署管内の事業所による自衛消防活動審査会が行われ、

東京光の家からは、男子隊の A チームと女子隊の B チームが「2 号消火栓の部」に出場しました。今年は大大会の開催が例年より早く、練習の時間が短い中でしたが、本番では、しっかりと練習の成果を発揮し、女子隊は優勝、男子隊は敢闘賞に輝きました。



田中理事長と記念撮影



女子隊 優勝！！



男子隊 敢闘賞！

地域合同総合防災訓練

～継続は力～

平成二八年一〇月二〇日（木）
会場：光の家・旭が丘東公園

東京光の家は近隣自治会と

地元企業との間で「災害活動相互応援協定」を締結しており、毎年一〇月と三月に合同訓練を実施しています。今回は震度五強の地震が発生したという想定で全員が近くの公園に避難しました。訓練を重ねるごとに地域の皆様と光の家の利用者の理解が深まっていくことが実感できました。



救護班による心肺蘇生訓練中！

～あとがき～

日ごとに冷氣加わり、深まる秋を実感いたしております。さて、今回一八九号を発行させて頂きました。

外部寄稿に毎月第二日曜聖書集会でお話頂いている小館先生より「光の家」でお話することによって恵みが与えられるという言葉を頂きました。それは聞き手の利用者が素直に応答してくれるので元気をもらい、また、神様のことをより深く学ぶことができからだそうです。今後も小館先生のお話を楽しみにしたいと思っております。

今回は、「愛のサウンドフェスティバル」や「バザー」の特集を組ませて頂きました。いずれも地域との積極的な交流が行われ、「光の家」が真に地域に根付いた施設になったのではないかと思います。

（常務理事 石渡 健太郎）

発

行 〒一九一〇〇六五

東京都日野市旭が丘一七ー一七

社会福祉法人 東京 光 の 家

電話 〇四二（五八二）二三四〇

FAX 〇四二（五八二）九五六八